

UpSide 10 アップサイド 10

株価指数連動追加年金付予定利率市場連動型年金保険(米ドル建)
II型

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社 
redefining / standards

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3

2010年度 (2010年4月～2011年3月) 特別勘定の現況 決算のお知らせ

ご契約者の皆様へ

日ごろは格別のお引き立てを頂き、誠に有り難く御礼申し上げます。
さて、弊社は去る3月31日に決算を迎えたので、ここに特別勘定の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも何卒ご愛顧の程よろしくお願い申し上げます。

- ・アクサ生命保険株式会社の「株価指数連動追加年金付予定利率市場連動型年金保険(米ドル建)」の株価指数連動追加年金のお支払のための資産は、特別勘定で運用を行います。
- ・当資料は、アクサ生命保険株式会社の「株価指数連動追加年金付予定利率市場連動型年金保険(米ドル建)」の特別勘定の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険の募集を目的としたものではありません。また、本保険契約の「型」または「特別勘定」単位の情報を掲載しております。
- ・当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性について、これを保証するものではありません。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・商品内容の詳細については「契約締結前交付書面(契約概要／注意喚起情報)(*)」、「リファレンスブック」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。

* 金融商品取引法の2007年9月30日完全施行により配布を開始しております。

株価指数連動追加年金付予定利率市場連動型年金保険(米ドル建) II型 特別勘定の現況 (2010年4月~2011年3月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 当ページは、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき、アクサ生命保険株式会社が作成し提供するものです。情報の内容に関しては万全を期しておりますが、その正確性・完全性については、これを保証するものではありません。

運用環境 [2010年4月~2011年3月]

【日本株式市場】

日本株式市場は、下落しました。TOPIX(東証株価指数)は前期末比▲11. 18%下落の869. 38ポイント(前期末は978. 81ポイント)で終了しました。

5月に、欧州の債務危機を背景としたリスク資産圧縮の動きや米国景気の先行き懸念、円高の進行などから大幅に下落して以降軟調な展開が続きました。11月にFRB(米連邦準備制度理事会)の追加金融緩和策決定を好感して上昇に転じ、その後も外国株式市場の上昇や円高が一服したことなどを受けて、堅調な推移が続きました。2月に中東・北アフリカ政情不安による原油価格上昇から下落し、3月11日に東日本大震災が発生すると、地震被害の拡大や原発事故の深刻化が懸念され、さらに大幅に下落しました。

業種別(東証33業種)では、原油価格の上昇を受けて「石油・石炭製品」(前期末比+28. 45%)が最も上昇した一方、震災の影響が懸念される「電気・ガス業」(同▲34. 02%)が最も下落しました。

【外国株式市場】

米国株式市場は、上昇しました。NYダウは前期末比+13. 48%上昇の12, 319. 73ドル(前期末は10, 856. 63ドル)で終了しました。

8月までは、欧州債務危機再燃によるリスク資産圧縮の動きが世界的に強まり下落しました。9月以降、良好な経済指標の発表や好調な企業業績、金融緩和への期待などに支えられて株価は上昇基調で推移しました。2月以降、中東・北アフリカの政情不安や東日本大震災により一時下落しましたが、景気回復期待などから再び上昇に転じて期末を迎えるました。

欧州株式市場も米国同様の動きとなり、上昇しました。市場別騰落率は、英FT100は前期末比+4. 03%上昇、仏CAC40は同+0. 38%上昇、独DAXは同+14. 43%上昇となりました。

【日本債券市場】

日本債券市場は、金利低下の後、10月中旬以降は金利上昇基調で推移しました。新発10年国債利回りは1. 255%となりました(前期末は1. 395%)。

欧州債務危機などから株価の下落基調が続いたことや米国長期金利が低下したことなどが買い材料になり、10月上旬には金利は一時0. 9%を割り込みました。その後、米国長期金利が上昇傾向となったことや株価が堅調な推移を続けたことなどから、2月に1. 35%近辺まで上昇しました。しかし、東日本大震災の発生によるリスク回避の動きを受け、期末にかけて金利は低下しました。

日銀は、10月5日に政策金利である無担保コール翌日物金利の誘導目標を年0. 1%から0~0. 1%程度に変更しました。

無担保コール(翌日物)は0. 1%程度の水準で推移しました。

【外国債券市場】

米国債券市場は、10月までは、欧州債務危機や米国の金融緩和の思惑が強まることなどが買い材料となり、金利は低下しました。その後、大型減税継続決定による景気回復期待などが売り材料となり、米10年国債利回りは、期末は3. 470%となりました(前期末は3. 826%)。

欧州債券市場は、8月までは、欧州債務危機によるリスク回避の動き、ギリシャやアイルランドの国債が格下げされたことなどから金利が低下しました。しかし、景気回復懸念が後退したことやECB(欧州中央銀行)による利上げ観測の高まりなどを受けて上昇に転じ、独10年国債利回りは、期末には3. 354%となりました(前期末は3. 092%)。

FRBは、FF(フェデラル・ファンド)金利の誘導目標を据え置き、年0. 0~0. 25%を維持しました。ECB(欧州中央銀行)は政策金利を据え置き、年1. 0%を維持しました。

【外国為替市場】

米ドル/円相場は、10月までは、米長期金利の低下や米国景気の先行き懸念によるリスク回避の動きから円高基調での推移となりました。その後、景気回復期待や米国長期金利が上昇傾向になったことなどから、3月までは概ね79円~84円台のレンジ内で推移する展開となりました。一時、東日本大震災の発生を受けて、円高が進行し76円前半の史上最高値を付ける局面もありましたが、期末には、円は対ドルで前期末比9円89銭(+10. 63%)円高ドル安の1ドル=83円15銭となりました。

ユーロ/円相場は、4月のギリシャ国債格下げや欧州債務危機を受け、リスク回避の動きが強まることから円高ユーロ安となり、その後は概ね106円~115円台のレンジで推移しました。期末には、円は対ユーロで前期末比7円35銭(+5. 88%)円高ユーロ安の1ユーロ=117円57銭となりました。

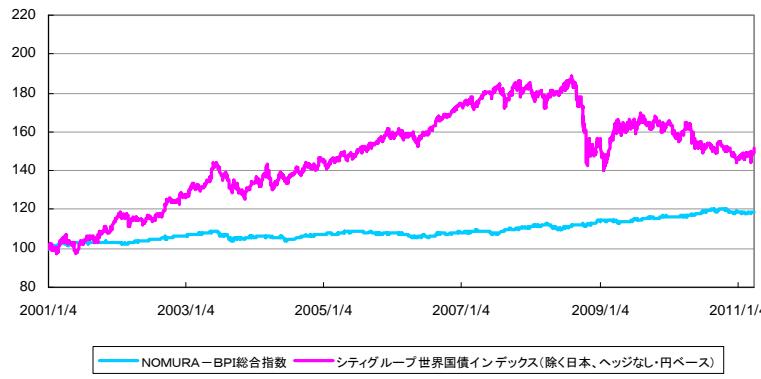
日本と外国の株式市場の推移

*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。

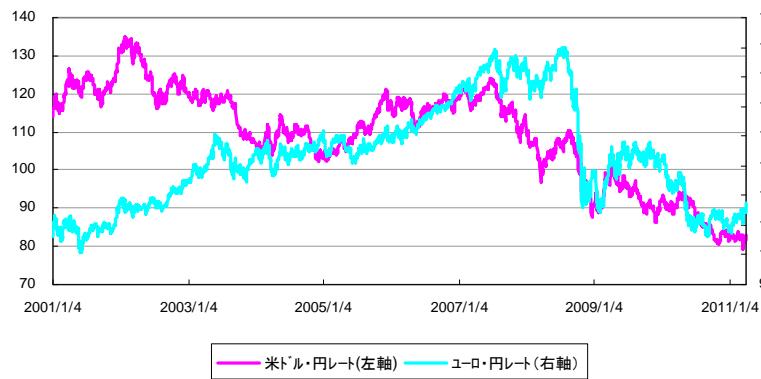


日本と外国の債券市場の推移

*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。



外国為替市場の推移



出所:株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-375-193

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

株価指数連動追加年金付予定利率市場連動型年金保険(米ドル建) II型 特別勘定の現況 (2010年4月~2011年3月)

・当資料中の運用実績に関するいかななる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。

特別勘定の運用方針について

【資産運用に係る基本的性格】

- ◆ この保険の株価指数連動追加年金のお支払いのための資産は、資産運用の成果が、株価指数連動追加年金額の増減につながるため、この保険の基本年金のお支払いのための資産(米国債券などの公社債を主な運用対象とし一般勘定で運用します。)および他の保険種類の資産とは区分して管理・運用を行なう必要があります。そのため当社は特別勘定を設け、特別勘定資産を他の資産とは独立した体制と方針に基づき運用します。
- ◆ 特別勘定は、ご契約日を同一とするご契約ごとに設定します。
- ◆ 特別勘定資産の運用は一定の収益も期待できますが、一方で対象株価指数の動向によっては、株価指数連動追加年金原資額が特別勘定に繰り入れた金額を下回る、または全くない場合があります。特別勘定資産の運用結果は、株価指数連動追加年金原資額および積立金額に直接反映されることから、資産運用の成果と投資リスクがともにご契約者に帰属することになります。

【目的と運用方針】

- ◆ 据置期間(ご契約日から10年間)満了までご契約を継続するご契約者に対して、所定の株価指数の上昇率に連動した株価指数連動追加年金原資を基本年金原資に上乗せすることを目的とし、これを運用方針とします。

米ドル・円 外国為替市場の推移 (2010年4月~2011年3月)

【米ドル・円 外国為替市場の推移】



※当該グラフで表示している為替市場は、株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値を採用しております。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-375-193

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

株価指数連動追加年金付予定利率市場連動型年金保険(米ドル建) II型 特別勘定の現況 (2010年4月~2011年3月)

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。

株価指数の変動実績 ①

2011年3月末日現在

【運用コメント】

当特別勘定資産は、世界を代表する10株価指数の毎年の最高の上昇率に連動した株価指数連動追加年金原資額を確保することを目的として、当社がエクイティ・インデックス・スワップ取引を行うことによって運用しました。

当社は、特別勘定に繰り入れた金額を用いてエクイティ・インデックス・スワップ取引を行い、世界の10株価指数のパフォーマンスによって変動する将来の追加年金原資額の給付を確保するための運用を行いました。

【世界の10株価指数の推移】 (2010年4月~2011年3月)

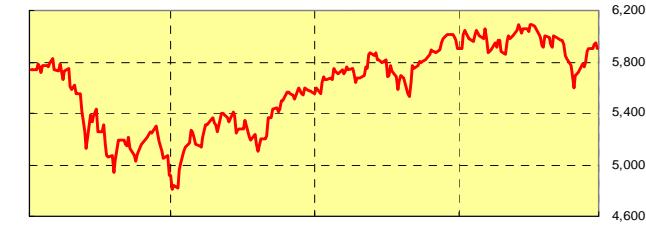
[S&P500(アメリカ)]



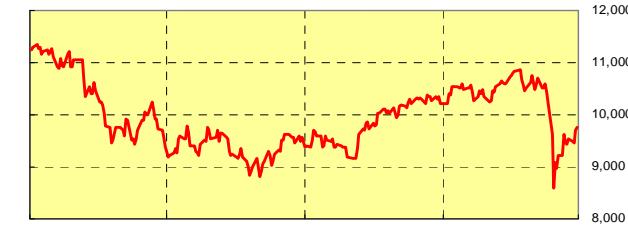
[NASDAQ100(アメリカ)]



[FTSE100(イギリス)]



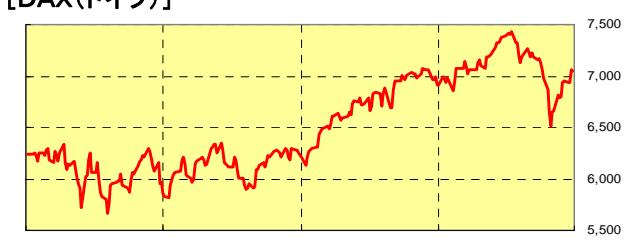
[日経平均株価(日本)]



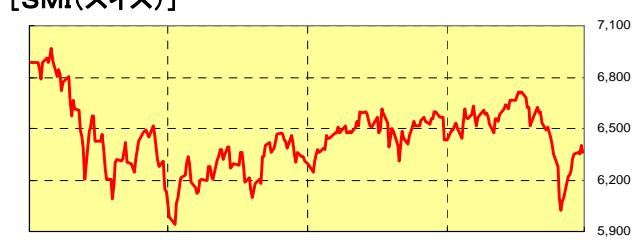
[CAC40(フランス)]



[DAX(ドイツ)]



[SMI(スイス)]



[IBEX35(スペイン)]



[AEX(オランダ)]



[BEL20(ベルギー)]



【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-375-193

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

株価指数連動追加年金付予定利率市場連動型年金保険(米ドル建) II型 特別勘定の現況 (2010年4月~2011年3月)

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。

株価指数の変動実績 ②

2011年3月末日現在

【特別勘定(契約年月日)ごとの上昇率の推移】

(2011年3月末日までに最も上昇した株価指数と確定した特別勘定ごとの上昇率を以下に記載いたしました。)

特別勘定 (契約年月日)	最も上昇した株価指数と上昇率								
	第1保険年度末		第2保険年度末		第3保険年度末		第4保険年度末		第5保険年度末
2005年 5月1日	日経平均株価	53.1%	DAX	22.7%	NASDAQ 1 0 0	2.2%	-	0.0%	NASDAQ 1 0 0 47.7%
2005年 6月1日	日経平均株価	34.6%	DAX	38.1%	NASDAQ 1 0 0	5.9%	-	0.0%	NASDAQ 1 0 0 29.0%
2005年 7月1日	日経平均株価	31.5%	DAX	43.4%	-	0.0%	-	0.0%	AEX 23.5%
2005年 8月1日	日経平均株価	25.7%	NASDAQ 1 0 0 /DAX	30.6%	-	0.0%	-	0.0%	BEL 2 0 16.8%
2005年 9月1日	日経平均株価	22.7%	DAX	28.1%	-	0.0%	-	0.0%	NASDAQ 1 0 0 7.8%
2005年 10月1日	BEL 2 0	25.6%	DAX	30.9%	-	0.0%	NASDAQ 1 0 0	14.8%	NASDAQ 1 0 0 16.9%
2005年 11月1日	IBEX 3 5	30.2%	NASDAQ 1 0 0	27.7%	-	0.0%	IBEX 3 5	29.3%	NASDAQ 1 0 0 27.4%
2005年 12月1日	IBEX 3 5	32.7%	DAX	22.0%	-	0.0%	NASDAQ 1 0 0	48.8%	NASDAQ 1 0 0 21.4%
2006年 1月1日	IBEX 3 5	30.7%	DAX	22.2%	-	0.0%	NASDAQ 1 0 0	56.3%	NASDAQ 1 0 0 18.4%
2006年 2月1日	IBEX 3 5	26.6%	NASDAQ 1 0 0	1.7%	-	0.0%	NASDAQ 1 0 0	47.5%	NASDAQ 1 0 0 30.4%
2006年 3月1日	IBEX 3 5	21.3%	NASDAQ 1 0 0	2.1%	-	0.0%	NASDAQ 1 0 0	62.8%	NASDAQ 1 0 0 29.0%
2006年 4月1日	IBEX 3 5	24.9%	-	0.0%	-	0.0%	AEX	62.7%	NASDAQ 1 0 0 18.7%
2006年 5月1日	DAX	30.0%	NASDAQ 1 0 0	2.2%	-	0.0%	NASDAQ 1 0 0	47.7%	
2006年 6月1日	DAX	42.7%	NASDAQ 1 0 0	5.9%	-	0.0%	NASDAQ 1 0 0	29.0%	
2006年 7月1日	DAX	44.5%	-	0.0%	-	0.0%	AEX	23.5%	
2006年 8月1日	DAX	28.1%	-	0.0%	-	0.0%	BEL 2 0	16.8%	
2006年 9月1日	DAX	28.0%	-	0.0%	-	0.0%	NASDAQ 1 0 0	7.8%	
2006年 10月1日	DAX	27.2%	-	0.0%	NASDAQ 1 0 0	14.8%	NASDAQ 1 0 0	16.9%	
2006年 11月1日	DAX	24.4%	-	0.0%	IBEX 3 5	29.3%	NASDAQ 1 0 0	27.4%	
2006年 12月1日	DAX	18.4%	-	0.0%	NASDAQ 1 0 0	48.8%	NASDAQ 1 0 0	21.4%	
2007年 1月1日	DAX	19.5%	-	0.0%	NASDAQ 1 0 0	56.3%	NASDAQ 1 0 0	18.4%	
2007年 2月1日	-	0.0%	-	0.0%	NASDAQ 1 0 0	47.5%	NASDAQ 1 0 0	30.4%	
2007年 3月1日	DAX	2.8%	-	0.0%	NASDAQ 1 0 0	62.8%	NASDAQ 1 0 0	29.0%	
2007年 4月1日	-	0.0%	-	0.0%	AEX	62.7%	NASDAQ 1 0 0	18.7%	
2007年 5月1日	NASDAQ 1 0 0	1.9%	-	0.0%	NASDAQ 1 0 0	47.7%			
2007年 6月1日	NASDAQ 1 0 0	4.6%	-	0.0%	NASDAQ 1 0 0	29.0%			
2007年 7月1日	-	0.0%	-	0.0%	AEX	23.5%			
2007年 8月1日	-	0.0%	-	0.0%	BEL 2 0	16.8%			
2007年 9月1日	-	0.0%	-	0.0%	NASDAQ 1 0 0	7.8%			
2007年 10月1日	-	0.0%	NASDAQ 1 0 0	14.8%	NASDAQ 1 0 0	16.9%			
2007年 11月1日	-	0.0%	IBEX 3 5	29.3%	NASDAQ 1 0 0	27.4%			
2007年 12月1日	-	0.0%	NASDAQ 1 0 0	48.8%	NASDAQ 1 0 0	21.4%			
2008年 1月1日	-	0.0%	NASDAQ 1 0 0	56.3%	NASDAQ 1 0 0	18.4%			
2008年 2月1日	-	0.0%	NASDAQ 1 0 0	47.5%	NASDAQ 1 0 0	30.4%			
2008年 3月1日	-	0.0%	NASDAQ 1 0 0	62.8%	NASDAQ 1 0 0	29.0%			
2008年 4月1日	-	0.0%	AEX	62.7%	NASDAQ 1 0 0	18.7%			
2008年 5月1日	-	0.0%	NASDAQ 1 0 0	47.7%					
2008年 6月1日	-	0.0%	NASDAQ 1 0 0	29.0%					
2008年 7月1日	-	0.0%	AEX	23.5%					
2008年 8月1日	-	0.0%	BEL 2 0	16.8%					
2008年 9月1日	-	0.0%	NASDAQ 1 0 0	7.8%					
2008年 10月1日	NASDAQ 1 0 0	30.9%	NASDAQ 1 0 0	16.9%					

- ・記載の「上昇率」とは、据置期間満了日までの各保険年度末日における各株価指数の終値と、その直前の保険年度末日における各株価指数の終値(第1保険年度の末日における計算においては、計算開始日における各株価指数の終値)とを比較した数値です。
(「計算開始日」とは、契約日の属する月の20日です。)
- ・上昇率は、株価指数連動追加年金原資額の計算に用いられます。
- ・上昇率は0.1%単位とし、端数は切り捨てます。
- ・保険年度末日における全ての株価指数の上昇率がゼロまたはマイナスであった場合は、その保険年度末日に確定する株価指数連動追加年金原資額はゼロとなります。
- ・上記の計算を、計算開始日以後、据置期間満了日までの各保険年度末日に行います。
(据置期間満了日までに10回計算します。)
- ・「終値」とは、各月末(日本時間)において当社が入手できる最新の終値を指します。
- ・記載の上昇率はあくまでも2011年3月末日までに確定した上昇率であり、将来の各株価指数の推移を保証・予測するものではありません。
- ・ご契約ごとの契約応当日現在の株価指数連動追加年金原資額等については、毎年送付しております「ご契約内容のお知らせ」をご参照願います。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先： カスタマーサービスセンター

Tel 0120-375-193

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

株価指数連動追加年金付予定利率市場連動型年金保険(米ドル建) II型 特別勘定の現況 (2010年4月~2011年3月)

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。

特別勘定資産評価額 2011年3月末日現在

特別勘定(契約年月日)	特別勘定資産評価額(米ドル)
2005年5月1日	281,140.62
2005年6月1日	370,969.20
2005年7月1日	895,406.25
2005年8月1日	406,931.70
2005年9月1日	308,259.84
2005年10月1日	320,575.78
2005年11月1日	3,667,053.32
2005年12月1日	5,912,782.55
2006年1月1日	4,868,527.00
2006年2月1日	2,632,147.87
2006年3月1日	3,857,434.12
2006年4月1日	7,765,875.85
2006年5月1日	2,409,161.54
2006年6月1日	4,900,141.33
2006年7月1日	3,273,453.71
2006年8月1日	1,727,945.95
2006年9月1日	1,782,328.75
2006年10月1日	2,404,092.40
2006年11月1日	1,612,636.66
2006年12月1日	1,244,685.03
2007年1月1日	1,230,338.89
2007年2月1日	644,173.78
2007年3月1日	785,868.10
2007年4月1日	1,720,046.00
2007年5月1日	611,009.44
2007年6月1日	593,817.04
2007年7月1日	676,755.95
2007年8月1日	717,271.41
2007年9月1日	732,600.58
2007年10月1日	594,653.59
2007年11月1日	407,685.68
2007年12月1日	773,593.57
2008年1月1日	291,260.12
2008年2月1日	433,130.73
2008年3月1日	304,516.93
2008年4月1日	441,902.37
2008年5月1日	151,326.70
2008年6月1日	153,769.16
2008年7月1日	85,198.93
2008年8月1日	89,014.78
2008年9月1日	198,443.04
2008年10月1日	276,915.39
合計	62,554,841.65

- 記載の特別勘定資産評価額は、特別勘定ごとの2011年3月末日時点における合計値となっています。
- 特別勘定は、ご契約日を同一とするご契約ごとに設定します。
- 金額の単位未満は切り捨てています。
- 記載の特別勘定資産評価額は、株価指数の推移・変動性、金利情勢、及び解約・減額等による特別勘定の積立金額の払い戻しなど諸要因によって変動します。
- ご契約ごとの契約応当日現在の株価指数連動追加年金原資額等については、毎年送付しております「ご契約内容のお知らせ」をご参照願います。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先： カスタマーサービスセンター

Tel 0120-375-193

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

株価指数連動追加年金付予定利率市場連動型年金保険(米ドル建) II型 特別勘定の現況 (2010年4月～2011年3月)

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。

《参考情報》 本保険契約の予定利率および連動率

特別勘定(契約年月日)	適用予定利率	基本年金原資保証率	連動率B(II型)
2005年 5月1日	4.25%	115%	56.00
2005年 6月1日	3.85%	110%	54.70
2005年 7月1日	3.85%	110%	57.30
2005年 8月1日	3.85%	110%	61.00
2005年 9月1日	3.85%	110%	58.90
2005年 10月1日	3.85%	110%	58.20
2005年 11月1日	3.85%	110%	63.00
2005年 12月1日	4.25%	115%	56.60
2006年 1月1日	4.25%	115%	57.00
2006年 2月1日	4.25%	115%	58.00
2006年 3月1日	4.25%	115%	58.50
2006年 4月1日	4.25%	115%	58.60
2006年 5月1日	4.25%	115%	59.80
2006年 6月1日	4.80%	120%	66.00
2006年 7月1日	4.80%	120%	67.40
2006年 8月1日	4.80%	120%	70.50
2006年 9月1日	4.80%	120%	71.10
2006年 10月1日	4.80%	120%	75.50
2006年 11月1日	4.80%	120%	74.10
2006年 12月1日	4.25%	115%	67.20
2007年 1月1日	4.25%	115%	64.70
2007年 2月1日	4.25%	115%	64.70
2007年 3月1日	4.25%	115%	62.40
2007年 4月1日	4.25%	115%	67.90
2007年 5月1日	4.25%	115%	64.80
2007年 6月1日	4.25%	115%	65.40
2007年 7月1日	4.80%	120%	68.20
2007年 8月1日	4.80%	120%	62.60
2007年 9月1日	4.80%	120%	60.80
2007年 10月1日	4.25%	115%	60.10
2007年 11月1日	4.25%	115%	53.50
2007年 12月1日	4.25%	115%	55.60
2008年 1月1日	3.85%	110%	50.60
2008年 2月1日	3.85%	110%	54.00
2008年 3月1日	3.40%	105%	45.00
2008年 4月1日	3.40%	105%	48.00
2008年 5月1日	2.90%	100%	48.20
2008年 6月1日	3.40%	105%	50.00
2008年 7月1日	3.40%	105%	45.80
2008年 8月1日	3.85%	110%	46.90
2008年 9月1日	3.85%	110%	44.60
2008年 10月1日	3.40%	105%	41.70

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先： カスタマーサービスセンター

Tel 0120-375-193

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

株価指数連動追加年金付予定利率市場連動型年金保険(米ドル建) II型 リスク及び諸費用について

【投資リスクについて】

この保険は一時払保険料のうち一定割合の金額を特別勘定に繰り入れ、エクイティ・インデックス・スワップ取引により、所定の10株価指数に連動した運用を行う米ドル建の個人年金保険です。

※ 所定の10株価指数(S&P500、NASDAQ100、FTSE100、日経平均株価、CAC40、DAX、SMI、IBEX35、AEX、BEL20)の動向によっては、株価指数連動追加年金原資額が特別勘定に繰り入れた金額を下回る場合、またはまったくない場合があります。

【為替リスクについて】

この保険は米ドル建ですので、外国為替相場の変動による影響を受けます。

年金や給付金などを米ドル建でお受け取りになる場合には、円に換算した年金や給付金などの額が、ご契約時における外国為替相場によって円に換算した年金や給付金などの額を下回る場合があります。同様に、お受け取り時における外国為替相場によって円に換算した年金受取総額などが、お払い込み時における外国為替相場によって円に換算した一時払保険料を下回る場合があります。

【市場価格調整について】

基本払いもどし金額は、米国債券などの運用資産の価値が反映(市場価格調整)されますので、解約(減額)時の所定の市場金利により増減し、経過期間にかかわらず一時払保険料相当額を下回る場合があります。

【諸費用について】 (下記の各費用の合計額をご負担いただきます。)

＜ご契約時にかかる費用＞

項目	費用
契約初期費用	契約時に一時払保険料から初期費用として 9.9% を控除します。

＜据置期間中にかかる費用＞

項目	費用
保険契約管理費	基本保険金額に対して 年率0.2% を責任準備金から控除します。
株価指数連動追加年金原資の管理費	基本保険金額に対して 年率0.16% を責任準備金から控除します。
為替手数料	<ul style="list-style-type: none">保険料円入金特約を付加して米ドル建の基本保険金額(一時払保険料)を計算する場合は、当社が保険料円換算額を受領する日のTTMレート+90銭(円入金用レート)の為替手数料がかかります。円支払特約の適用により年金や死亡給付金などを円でお受け取りになる場合は、年金の場合は年金支払開始日、死亡給付金額などの場合は当社が所定の必要書類を受付けた日の翌営業日のTTMレート-40銭(円出金用レート)の為替手数料がかかります。なおこれらのレートは将来変更となることがあります。 <p>※ TTMレートは、所定の金融機関が公示するその日最初のTTMレート(対顧客電信売買相場仲値)となります。</p>
送金手数料	年金などを米ドル建でお受け取りいただく場合、当社からの送金にかかる手数料は、お客さま(受取人)に負担していただきます。ただし、「円支払特約」を適用される場合には、当社が負担します。金額については送金する金額や取扱金融機関によって異なるため表示できません。

＜年金支払開始日以後にかかる費用＞

項目	費用
年金管理費	年金額に対して 1.0% を年金支払日に責任準備金から控除します。

※ 年金管理費は、将来変更となる可能性があります。

【その他重要な顧客不利益事項】

■ 米ドル建での基本年金原資保証

基本年金原資額の最低保証は米ドル建で行われるため、据置期間満了日の外国為替相場によっては、円に換算した基本年金原資額が一時払保険料を下回る場合があります。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先： カスタマーサービスセンター

Tel 0120-375-193

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>